

琉球大学学術リポジトリ

新聞記事：『東京朝日新聞』 北海拓殖増額の費途決定す

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38350

矢内原忠雄文庫

史料名	大正14年12月3日『東京朝日新聞』北海拓殖増額の費途決定す
封筒番号	481
原文所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成17年11月21日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

北海拓殖増額の 経費途決定す

14,12,8 二百八十三萬圓中
産業費に一千余萬圓を

北海道第二期拓殖計画は十六年度から再上される事は既報の如く大蔵内務兩省の折衝の結果暫かまじまつたがその妥協條件として十五年度に新規に増額された二百八十三萬圓の用途は大略左の通り決定した(單位千圓)

一、殖民地の増 七七五
従来の殖民地選定及調査、土地処分、土地利用状況調査、奨励補助、補助居住建設費補助等に殖民地建設費の増加(新に移住者共同居住小棟の建設並に個人助成費を計上)

一、産業費の増 一、四〇七
本道は従来の水産農事及商業の奨励、漁業調査費の増加(新に畜産奨励事業)要する経費を計上す

一、土木改良費の増 一、〇〇〇
本道は従来の排水溝かんがい、橋工事費補助の増加(新に遊田その他改良事業)に對する補助を計上す

一、道路橋りやう費の増 一、三三八
本道は保護移民入地地方に對し道路新設に要する経費なり

一、河川費の増 一、五〇〇
本道は本道重要河川の調査費の増加

一、港灣費の増 四九八
本道は浦河島形の岩内各港修

植民地の 公債補充金

兩者互譲で
決定せん

一、鐵道及鐵道助成費の増 九五五
本道は地方鐵道助成に關する補助費の増加額

一、餘裕 極めて少い額に當り民より貸付くる事は不可能であり民間より借入れる事は公債發行に非ざる可く之れも不可であつて一般會計より貸付くる事も面白くないから公債に非しては公債發行を認め



1/10



計六千八百萬圓か

既定額 四千萬圓
 合計 五千萬圓
 に決定するにせり

新規發行 三百萬圓
 計 三百萬圓

で決定せんとする模様にして種々に就いては補充金を増加し公債増額を認めざる

の公債發行額は
 發行總額 一億五千萬圓

内
 一般會計 (既定額より一千八百萬圓) 八千二百萬圓
 特別會計 (既定額より一千八百萬圓増六千八百萬圓)

なるのであつて右一般會計所屬の明年度公債金減少の補てんは明年度歳入豫算上の剩餘金くり入額を増加するはずである

過剰銀の輸出具體案

正金台銀の勸定

自由裁量で取扱はせる

大蔵省は補助貨需要の激進と手持銀の増加した為民間からの銀買上を中止し内地過剰銀の處分に際し研究中であつたが過剰銀は之を海外に輸出し輸出買易の一助たらしむる方針を決した併し銀は金と同

大正六年以來輸出許可制度となつて居るから銀の輸出に關する具體案は
 一、省令を出して銀のみを自由輸出制度とする事
 一、大蔵省又は日銀も定も民間から買ひ上げ支那へ輸出する手續

八金庫

出は安全第一主義

中盤たるべき一大金庫機關を設立したるからといふ意見で産業組合中央金庫法案なるものが提出されたのであつたが、政府でも躊躇その下心はあつて、案を重ねて居た筈であるから多少の修正を條件を

設立當初の資本は三千萬圓内一千五百萬圓は政府出資の計畫であつたが産業組合の出資希望者が案外豊富に居る盛況となつたので翌三年の春七十萬圓増資して之を組合に期りあてた。従つて現在の資本は三千七百萬圓、政府の出資一千五百萬圓は既に全額返済済みであり民間側も四百六十萬圓からの増込み